

駅前のライトアップ点灯式

地域経済学科

九州国際大学の最寄り駅である JR 九州鹿児島本線の八幡駅の駅前通りでは、毎年晩秋から冬にかけて、イルミネーションのライトアップを行っています。本学では地域経済学科の地域づくりコースの三輪ゼミが、毎年、このライトアップの設営や点灯式の運営等に積極的に参画しています。

また、本学でも一部でライトアップを行っています。こちらにも三輪ゼミがデザインと設営を行っています。

今回は、八幡駅前のイルミネーションの点灯式の模様を中心に、谷口拳志郎君(三輪ゼミ 4年)に紹介してもらいます。

八幡駅前イルミネーション点灯式について、簡単ながら紹介をさせていただきます。

2022年11月に地域経済学科の地域づくりコースの三輪ゼミと、八幡駅前の振興を業務としている八幡駅前開発様と協力し、イルミネーションの点灯式を行いました。

三輪ゼミでは、毎年、冬の到来を肌で感じ始める11月の頃に、八幡駅前のイルミネーションの設置等に携わらせていただいております。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年と2021年は、点灯式を開催することもできず、さらには人を呼んで盛大に祝うということもできませんでした。

2022年は、人々の行動制限も緩和されてきており、3年ぶりにイルミネーションの点灯式を開催することとなりました。これまでの2年にわたる自粛期間を通して人々の心の中にたまりにたまったもやもやとした気持ちを発散してもらうことを目指し、三輪ゼミの学生たちは、ライトアップそ

してイルミネーションの点灯式の準備に奔走しました。

当日は、八幡駅前開発様、九州電力様、ひびき信用金庫様を中心として、このイベントをにぎやかなものにすることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。また、点灯式に合わせてキッチンカーを来てもらうことができたり、本学の報道部のみなさんに司会をしてもらうことができたりしました。このような多くの関係者の皆様の活躍もあり、八幡駅前に地元の方々を中心に多くの来場者にお越しいただくことができ、賑わいを創出することのできた素晴らしい点灯式を実施することができました。



写真は点灯式でのボタンを押す時の様子です。

点灯式では、本学の櫻井弘晃学長、九州電力代表、そしてもう1人は点灯式の参加者を対象としたじゃんけん大会で優勝した小学生の、三人のみなさんに点灯ボタンを押していただきました。

今回のメインの点灯セレモニーでは、イベントの運営スタッフと参加した方々全員で点灯カウントダウンをしました。普段なかなか見られない八幡駅の盛り上がりを見せました。